

取組の成果・課題			
記号	ア	事業分類	心の教育の推進
本物の劇や人形劇を鑑賞し、お話の世界や空想の世界に浸ることができた。特に劇は、間近で見ること、迫力や場面展開を楽しめた。また、人形劇は、他園の同年齢の友達と一緒に見たことで、共感し合う楽しさや関わり合う嬉しさを感じることができた。			
記号	ウ	事業分類	健康安全教育の推進
リトミックは年間10回を計画し、しなやかな体づくりとともに音やリズムに合わせた身体表現は、子供たちにとって楽しい時間となった。また、身近な楽器や珍しい楽器との触れ合いは、リズム感覚と音の聞き分けを楽しみながら取り組める時間となった。運動遊び教室は、思い切り体を動かす心地よさや遊びながら体幹を鍛える機会となった。外部コーチや講師の指導方法も保育者として、学ぶことが多かった。			
記号	エ	事業分類	体験活動の充実
野菜や花を栽培する中で、自分たちなりに世話をして生長する様子を間近で見えてきた。少しの変化や生長に気づき、感動を言葉で表現することが多くなった。また、心の表出として、描画表現を多く取り入れてきた。自分の感じたままを絵の具に乗せて、存分に表出することを繰り返すことで、心の解放とともに自分に自信がもてるようになり、のびのびと生活する姿に変わってきた。			
記号	オ	事業分類	交流活動の充実
手品や足芸など地域の方が得意なものを子供たちに見せてくれたとともに、言葉を交わし、楽しさを共感し合いながら、人と関わることの楽しさを味わうことができた。人と関わるのが少し苦手な子供たちであったが、挨拶を交わしたり、触れ合ったりして、抵抗感がなくなってきた。			
記号	キ	事業分類	地域・家庭連携の推進
親子運動教室では、父親との触れ合い遊びを中心に行われた。日頃から親子のスキンシップを楽しんでいる姿を見ることができたり、独占できる嬉しさを満面の笑みで表出したりする様子が見られた。また、親子体験活動の寄せ植えなどは、卒園式に飾るという目的をもって取り組み、年長児への親しみをもち、心を込めた活動になった。			